

2020年2月7日
日本新薬株式会社
広報部

各位

日本新薬、前立腺癌治療剤『ザイティガ®』に関する 日本国内におけるコ・プロモーション契約をヤンセンと締結

日本新薬株式会社(本社:京都市南区、社長:前川重信、以下「当社」)は、このたび、ヤンセンファーマ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:クリス・フウリガン、以下「ヤンセン」)との間で、前立腺癌治療剤『ザイティガ®(一般名:アビラテロン酢酸エステル)』について、日本国内におけるコ・プロモーション契約を締結しましたので、お知らせします。

当社は、2019年1月に前立腺癌治療剤『アーリーダ®(一般名:アパルタミド)』についてヤンセンとコ・プロモーション契約を結んでおり、このたびの契約により、両社の前立腺癌領域におけるコラボレーションをより一層強化していくこととなります。当社は、ヤンセンとともに、アーリーダ®に加えてザイティガ®についても、医療機関への適切な医薬品情報提供ならびに情報収集を通じて、日本における前立腺癌治療に貢献してまいります。

コ・プロモーション活動は、2020年3月2日(月)から開始します。なお、製品の流通は製造販売元として、引き続きヤンセンが担います。

ザイティガ®(アビラテロン酢酸エステル)について

ザイティガ®は、アンドロゲン合成酵素である CYP17 を選択的に阻害することで抗腫瘍効果を示す CYP17 阻害剤で、日本国内においては2014年7月に「去勢抵抗性前立腺癌」、2018年2月には「内分泌療法未治療のハイリスクの予後因子を有する前立腺癌」の効能・効果で承認を取得しています。現在105か国以上で承認されており、これまで世界中で290,000人以上の患者さんに処方されています。

アーリーダ®(アパルタミド)について

アーリーダ®は、新規の経口アンドロゲン受容体シグナル伝達阻害剤であり、前立腺癌細胞のアンドロゲンシグナル経路を遮断します。アンドロゲンがアンドロゲン受容体(AR:androgen receptor)に結合するのを阻害する、AR が癌細胞核内に移行するのを止める、AR が癌細胞の DNA に結合するのを阻害する、という3つの方法で癌細胞の増殖を阻害します。なお、アーリーダ®は国内において、2019年3月に「遠隔転移を有しない去勢抵抗性前立腺癌」を効能・効果として承認を取得しています。

日本新薬について

日本新薬は、人々の健康と豊かな生活創りに貢献することを使命としています。病気に苦しむ患者様、ご家族へ福音となる特徴あるくすり創りを通して、社会から信頼される企業を目指しています。当社の最注力疾患領域の一つに泌尿器科があります。当社が取り扱っている泌尿器科の製品等、詳細な情報については <http://www.nippon-shinyaku.co.jp> をご覧ください。

以上